

令和7年度公益社団法人北谷町シルバー人材センター事業報告

令和7年度の国内経済は、緩やかな回復基調にあるものの、中東情勢の不安定化に伴う原油価格の上昇等により、事業コストの増大が懸念される状況にあります。

また、沖縄県においては観光需要の回復により景気の持ち直しが見られる一方で、人手不足が顕在化しております。このような状況を踏まえ、当センターにおいては、高齢者の就業機会の拡大を図るとともに、地域のニーズに即した業務の開拓及び受注の拡大に努め、安定的な就業機会の確保に向けた取組を推進してまいりました。

会員の拡大については、各種イベント会場や自治会での会員募集チラシの配布や会員による知人・友人への積極的な声掛け活動、また、女性向け講座の充実を図り、女性会員の拡大に注力してまいりました。結果、会員数全体で4.69%の増、女性会員も9.09%の増となりました。

就業先の開拓・拡大、安全就業の推進を重点項目として事業を実施しました。その結果、受託事業と派遣事業合わせた契約金額は、前年度比4,239,631円増の149,520,419円となり、令和6年度を上回る実績となりました。

また、令和8年度からの包括的契約への移行に向け、関係例規の改正を行うとともに、円滑な制度運用を図るため、会員及び職員を対象とした説明会を実施しました。

安全就業については、就業現場の巡回パトロールを強化し事故防止に努めるとともに、各種講習を実施し、「安全就業ガイドライン」に基づく安全就業の推進を図りました。

今後も、公益法人として適正に事業を実施し、地域のニーズに的確に対応した事業運営を推進してまいります。

以下、令和7年度の事業実施概要について報告いたします。

[令和7年度事業実績]

	本 年 度	前 年 度	差 異	伸 び 率
会 員 数	201人	192人	9人	4.69%
受注件数	495件	527件	△32件	△6.07%
契約金額	149,129,323円	144,118,830円	5,010,493円	3.48%
就業延人員	19,090人	18,456人	634人	3.44%
就 業 率	91.5%	91.1%	0.4%	0.44%
ボランティア 参加延人員	251人	347人	△96人	△27.67%

※派遣事業を除く

1 有料職業紹介事業及び労働者派遣事業の推進

- ・有料職業紹介事業は、企業等から求人申し込みの依頼は無く実績を上げることはできませんでした。
- ・労働者派遣事業については、受注件数で2件の減、契約金額で770,862円の減となっております。

[労働者派遣事業]

	令和7年度	令和6年度	前年度比較
受注件数	3件	5件	△2件
契約金額	391,096円	1,161,958円	△770,862円
就業延人員	136人	267人	△131人

2 研修・講習事業の開催

会員の就業に必要な知識及び技能向上を図るため、「刈払機取扱講習会」を開催しました。

また、大同火災海上保険株式会社の交通安全チーフアドバイザーを講師に迎え、「高齢者交通安全講話」を4回にわたり開催し、交通事故防止のための注意点を学びました。

さらに、新たな取り組みとして「フラダンス体験講座」や「やさしい韓国語講座」を実施するとともに、昨年度に引き続き「メイクアップ講座」も開催し、女性会員の獲得に努めました。

3 普及啓発活動の推進

シルバー事業の普及と会員の加入促進のため、幅広い広報活動を行いました。会報誌「シルバーだよりちゃん」を年3回発行したほか、町広報誌や各自治会でのチラシ配布を通じて町民への周知に努めました。

また、10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」には、町役場での就業風景の写真や会員が描いた絵画の展示に加え、会員が育てた観葉植物や手芸クラブの作品販売を行いました。さらに、2月の「北谷町産業総合展示会」では、腐葉土の販売や会員が栽培した野菜、手芸クラブの作品を販売するなど、地域イベントを通じてセンターの活動を広くPRしました。

4 安全・適正就業の推進

- ・安全・適正就業の推進を目的として「安全・適正就業推進大会」を開催し、会員の安全意識の向上を図りました。あわせて、講師による「運動機能の維持・向上について」に関する講話を実施し、健康維持に対する理解を深めました。さらに、町保健師による熱中症予防に関する指導を行い、安全で安心な就業環境の確保に取り組みました。

- ・安全・適正就業推進員による巡回指導を強化し、草刈・剪定就業時における安全保護具の着用、飛散防止ネット設置、脚立の適正使用を徹底することで事故防止に努めました。あわせて、夏季の熱中症対策としてこまめな水分補給・休憩の周知を図るとともに、緊急に備えての経口補水液を各班に配備しました。
- ・安全就業については、傷害事故2件、車両事故2件、疾病事案1件が発生しました。事故件数は、前年度と同数となりましたが、引き続き安全就業に対する取り組みを強化し、無事故を目標に努めてまいります。

5 調査研究事業の実施

- ・会員の希望職種、健康診断受診状況並びに健康状態、会員向けアプリの登録状況等について、アンケート調査を実施しました。アンケート調査の結果については、会報誌「シルバーだよりちやたん」に掲載し会員に周知しました。
- ・事業運営の改善に活かすため、会員の就業態度や業務の仕上がりに関する発注者満足度アンケートを実施し、サービス内容の向上に努めました。

6 就業分野の開拓・拡大

町発注の公共施設に係る軽微な維持管理業務について、受注の拡大に取り組みました。民間分野では、一般家庭へのチラシ配布（事業周知・会員募集）を実施し、就業機会の確保を図りました。また、「一会員一事業の開拓・会員の加入促進運動月間」を設け、会員と役職員が連携して就業開拓と会員獲得を推進しました。さらに、ホームページや町広報誌等を活用し、就業機会の拡大と会員増強に取り組みました。

7 草木類資源化処理事業の推進

令和7年度は、町内で収集された草木類169トンの処理を行いました。収集された草木類については、資源化処理の一環として腐葉土の生産を行っています。

腐葉土については、町民向けに安価で販売するとともに、公共施設の植栽事業に無償提供を行い、「草木類資源化処理事業」の周知・PRに努めました。

しかしながら、草木類の資源化処理に使用している大型機械が経年劣化により使用不能となったことから、腐葉土の生産量が大幅に低下しております。このため例年実施していた各種イベントでの町民への無料配布は実施できませんでした。

[腐葉土販売実績]

	令和7年度	令和6年度	前年度比較
販売数	4,456 袋	7,141 袋	△2,685 袋
販売金額	735,240 円	1,178,265 円	△443,025 円

8 相談及び情報提供の推進

毎月第三水曜日に、入会を希望する地域の高齢者に対し説明会を実施し、入会の促進を図りました。

ア 入会説明会 17回 参加者 37人

イ 相談・情報提供 40回

また、ホームページを活用した情報提供に加え、毎朝のミーティングにおいて会員へ当センターの動向及び県内の拠点センターの情報等を共有するとともに、随時、会員からの各種相談にも対応してきました。さらに、町広報誌や会報誌等を通じて町民に対しシルバー人材センター事業の周知を図るとともに、職員による町内一般家庭への会員募集チラシのポスティングを実施し、広報啓発活動の強化に努めました。

9 社会参加活動の推進

社会参加活動については、主に地域の緑化や清掃ボランティア活動を積極的に推進して参りました。

- ・ 7月の町制施行45周年式典では、会場周辺の清掃及びパネル展示の設置、片付けを行いました。
- ・ 10月に開催された「ちゅら島環境美化全県一斉清掃」のボランティア清掃では、北谷公園周辺の清掃活動を実施しました。
- ・ 同じく10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」においては、会員を2班に分け「シルバーの日」ボランティア活動を実施しました。町立保育所に出向き、園児と会員が共同でプランターへの花植え作業を行うなど、地域との交流を図るとともに、当センターの事業の普及啓発に努めました。
- ・ 11月の町民運動会において、事業所対抗リレーに会員チームとして参加しました。競技への参加を通じて運動会の盛り上げに寄与するとともに、地域住民との交流を深め、当センターのPRに努めました。
- ・ 令和8年2月の産業展示会において、会場周辺の清掃を実施しました。